

## ■ 株主優待について

### 従来の優待制度



- 1 100株以上保有の株主様に500円相当のオリジナルQUOカードを贈呈
- 2 財団法人「緑の地球防衛基金」への寄付（優待品相当金額の10% = 50円）



### 新しい優待制度



従来のオリジナルQUOカードが、カーボンオフセット付きQUOカード **[GREENSHOES CARD]** になりました。

QUOカードにカーボンオフセットの機能を取り入れることで、カード1枚につき、CO<sub>2</sub>などの温室効果ガス約6kgの削減に貢献できます。

なお、財団法人「緑の地球防衛基金」への寄付は継続いたします。

### Q カーボンオフセットとは？

**A** クリーンエネルギー事業などの活動に投資・貢献することによって、排出したCO<sub>2</sub>(カーボン)を打ち消す(オフセット)という、新しいCO<sub>2</sub>などの温室効果ガス削減の考え方です。GREENSHOES CARDでは、国連が認証したCO<sub>2</sub>削減プロジェクトの排出権を購入し、日本国政府の償却口座へ寄贈することにより、京都議定書に定められたルールに従い、日本のCO<sub>2</sub>削減目標に貢献することができます。

### Q およそ6kgのCO<sub>2</sub>とは？

**A** 日本国民1人あたりが排出するCO<sub>2</sub>の量が、1日平均約6kg(チーム・マイナス6%ホームページより)とされていることから、当カード1枚で「日本国民1人あたりが1日に排出するCO<sub>2</sub>がオフセットできる」とみなすこともできます。



## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃より当社事業へのご理解とともに格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

ここに第107期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）における事業の取り組みと成果をご報告し、合わせて今後の見通しについてご説明させていただきます。

平成21年6月

代表取締役社長 **井村周一**

## 過去最高の営業利益・経常利益を記録し、増配を実施

**Q** 景気後退は事業にどのような影響を及ぼしていますか？

**A** 全社的な状況としては、12月あたりから受注面で影響が出始め、年明け以降はそれが非常に顕著となりました。

食糧・資源関連では、ジルコンサンドやアルミ業界向けの金属シリコンが生産調整による影響を受け、販売が減少しております。また、フェロニッケルは相場価格の下落と需要減により販売単価及び数量とも減少しております。産機・建機関連及び環境設備関連では、民間設備投資と設備稼働率の落ち込みによる影響を受けつつあります。

**Q** 当期(平成21年3月期)の業績についてご説明願います。

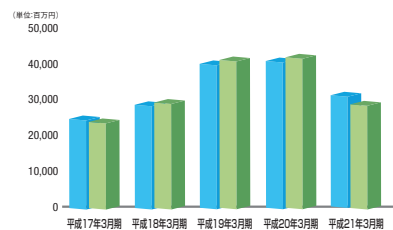
**A** 具体的な業績数値については右表の業績ハイライトの通りです。売上高は減収となりましたが、主要因はジルコンサンドの需要減と市況商品であるフェロニッケルの価格下落などにより、食糧・資源関連の売上が大幅に減少したことによるものです。

一方、利益面では、産機・建機関連の順調な推移と、

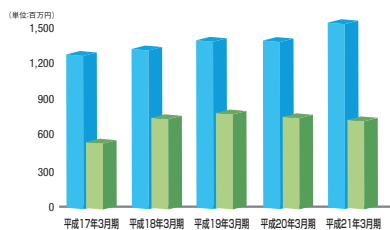
環境設備関連で水砕スラグ製造設備(「ラサ・システム」)の国内大型2案件を売上計上したことにより、営業利益および経常利益は過去最高益を達成しました。一方、当期純利益については、株式市場の低迷による株式評価損等を特別損失に計上したことにより減益となりました。

期末配当は1株当たり7円50銭とさせていただきます。年間配当は、同額の間配当と合わせて1株当たり15円(前期比2円の増配)とさせていただきます。なお、配当性向は25.2%(前期は21.0%)となりました。

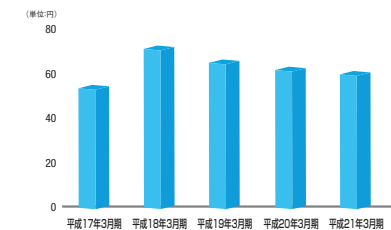
■ 売上高 ■ 受注高



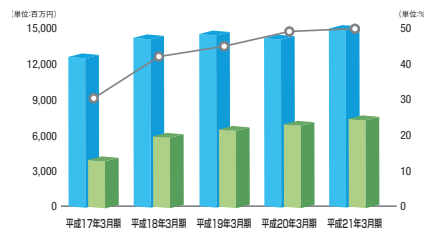
■ 経常利益 ■ 当期純利益



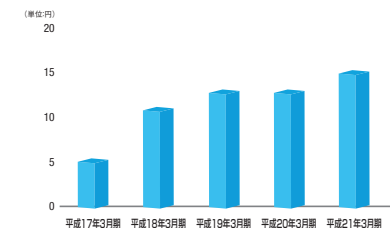
■ 1株当たり当期純利益



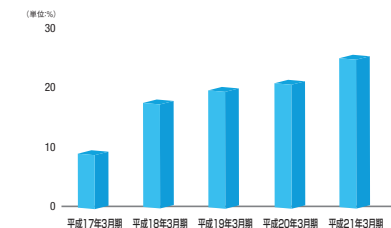
■ 総資産 ■ 純資産 ○ 自己資本比率



■ 1株当たり配当金



■ 配当性向



### 業績ハイライト

売上高 **31,716**百万円 (前期比 23.0%減)

営業利益 **1,562**百万円 (前期比 10.9%増)

経常利益 **1,554**百万円 (前期比 10.1%増)

当期純利益 **736**百万円 (前期比 3.7%減)

1株当たり当期純利益 **59.51**円 (前年実績 61.83円)

## 「提案型営業」を実践し、悪化する事業環境に対応

Q 成長に向けた課題と、当期の成果についてお聞かせください。

A 食糧・資源関連では、中国産原材料や金属シリコンの拡販に注力しています。当期より、太陽電池向け金属シリコンの取り扱いを開始し、国内シリコンメーカーに試験的に納入したものが合格するなど手応えが得られました。オーストラリア産鉱産物の第三国への輸出拡大も、引き続き注力課題として取り組んでいます。

産機・建機関連では、新商品の育成をテーマとして、主にヨーロッパを商品開拓先とする取り組みを進めている他、景気に左右されにくい収益の柱として、既存の納入先へのメンテナンスサービスの提供にも注力してまいりました。

環境設備関連では、「ラサ・システム」の海外販路拡大

に取り組み、当期の実績としては、インドにおける製鉄所4案件の受注が決まりました。鉄鋼の需要は、中長期的には伸びるものと期待しており、インドやブラジルでの受注活動に注力してまいります。また、新技術の開発・導入も重要な取組課題です。当期は、焼却灰を溶融・無害再資

源化する「パラ・エコ・リサイクリングシステム」の新用途開発に取り組んだ他、高圧ホースダイアフラムポンプの超臨界・亜臨界システムへの試験的納入に成功し、下水道処理施設や新分野への拡販の足掛かりを築きました。

Q 今期(平成22年3月期)の見通しはいかがですか？

A 先行きの不透明感が払拭されず、見通しが困難な状況にあるため、足元の営業活動の厳しさを踏まえ、今期の業績については、売上高204億円(前期比35.7%減)、営業利益5億円(同68.0%減)、経常利益5億円(同67.8%減)、当期純利益2億8千万円(同62.0%減)と、大幅な減収減益を予想しています。

こうした厳しい時期こそ、当社の営業スタイルである「提案型営業」を実践し、長年にわたり培ってきた取引先との信頼関係を一層強固なものにしていく必要があります。このため今期はこの点を念頭に置き、成長分野への人員シフトを進めていく考えです。

今期の配当につきましては、大幅な減益を予想していることから、中間・期末配当ともに1株当たり4円、年間配当1株当たり8円を予定しています。配当性向としては、従来より20%前後の維持を目指しておりますが、今期は減配ながらも一定程度の減額にとどめさせていただきました。配当性向は35.4%となる見込です。



超臨界・亜臨界分野で使われる「高圧ホースダイアフラムポンプ」

## 環境ビジネスに関わる企業として、社会貢献にも注力

Q 株主優待制度を変更しましたが、その内容と目的は？

A 当社では、3月31日現在の100株以上保有いただいている株主の皆様を対象に、QUOカード(500円)の贈呈と、財団法人緑の地球防衛基金への寄付(50円)代行による優待制度を導入しています。このQUOカードを本年より「GREENSHOES CARD」に変更いたしました。これは、QUOカードにカーボンオフセット機能を付加したカードで、1枚につきCO<sub>2</sub>などの温室効果ガス約6kgの削減に貢献できるものであります。

株主の皆様とともに参加できる社会貢献を実施し、なおかつ、環境設備関連を展開する企業として認知いただくために変更するものをご理解いただければ幸いです。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A おかげさまで当社は、平成21年1月10日に設立70周年を迎えました。これまでのご支援に深く感謝しつつ、今後もさらなる事業の拡大を図り、新たな歴史を作り上げてまいります。

当面の事業環境としては、先の見通しが不透明な状況が続くものと思われませんが、景気回復の折にV字回復を狙えるように経営体質を強化し、確実に成長軌道に復帰するための基盤構築を進めてまいります。そして、持続的な成長発展を目指すとともに、より多くの社会貢献を果たしていくことで、自らの企業価値を高め、株主の皆様のご期待に応えていく所存です。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 財団法人「緑の地球防衛基金」への寄付を実施

平成20年3月に株主優待制度の一部を変更し、財団法人「緑の地球防衛基金」への寄付を追加いたしました。この第1回目の寄付を、株主の皆様にご代わりまして平成20年6月に当社が行いましたので報告申し上げます。



事業内容	売上高推移	当事業年度の概況	売上構成比								
<p>食糧・資源関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●食糧・各種原材料の輸入販売</li> <li>●製鋼原料の販売・各種物資類の輸出版売</li> <li>●ミネラルサンズ・各種鉱産物の輸入販売</li> </ul> <p>主な商品・技術 ジルコンサンド・フェロニッケル 金属シリコン・クローラクレーン</p>	<p>売上高推移</p> <p>29,040百万円 ↓ 18,786百万円 (35.3%減)</p> <p>食糧・資源 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>売上高 (百万円)</th></tr> <tr><td>平成19年3月期</td><td>30,356</td></tr> <tr><td>平成20年3月期</td><td>29,040</td></tr> <tr><td>平成21年3月期</td><td>18,786</td></tr> </table>	年度	売上高 (百万円)	平成19年3月期	30,356	平成20年3月期	29,040	平成21年3月期	18,786	<p>→当事業年度のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●フェロニッケルは、LMEニッケル相場の価格下落により大幅な売上減</li> <li>●ジルコンサンドは、下期に景気後退の影響を受けて需要が減少し売上減</li> </ul> <p>食糧・資源関連におきましては、期前半は製鋼原料の販売価格がLMEニッケル相場の高騰に連動して高値を継続しましたが、期後半は、落ち着いた状況が続いたことから、関連部門の売上高は187億86百万円となり、前期に比べ102億54百万円(△35.3%)の減収となりました。売上総利益は、輸入鉱産物が国内需要低迷の影響を受け、前期に比べ1億71百万円の減益となりました。</p>	<p>売上構成比</p> <p>59.2%</p> <p>食糧・資源</p>
年度	売上高 (百万円)										
平成19年3月期	30,356										
平成20年3月期	29,040										
平成21年3月期	18,786										
<p>産機・建機関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●産業用生産ラインおよび水処理用各種流送機器類の販売</li> <li>●マンホールポンプシステムの販売</li> <li>●各種小型建設機械・耐震管敷設用機器の販売</li> <li>●シールド掘進機の販売およびレンタル</li> </ul> <p>主な商品・技術 ワーマンポンプ・ヒドロスタルポンプ シールド掘進機・キールカッター</p>	<p>売上高推移</p> <p>10,201百万円 ↓ 10,191百万円 (0.1%減)</p> <p>産機・建機 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>売上高 (百万円)</th></tr> <tr><td>平成19年3月期</td><td>9,015</td></tr> <tr><td>平成20年3月期</td><td>10,201</td></tr> <tr><td>平成21年3月期</td><td>10,191</td></tr> </table>	年度	売上高 (百万円)	平成19年3月期	9,015	平成20年3月期	10,201	平成21年3月期	10,191	<p>→当事業年度のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●産機・建機ともに、ほぼ前年並みの売上に</li> <li>●ワーマンポンプは、部品・メンテナンスが好調に推移</li> <li>●シールド掘進機は、海外の大型案件の売上が寄与し売上増</li> </ul> <p>産機・建機関連におきましては、期前半は堅調な国内設備投資に支えられた民間企業向け各種ポンプ類などの販売が好調でしたが、期後半は国内設備投資の急激な落ち込みから、関連部門の売上高は101億91百万円となり、前期に比べ9百万円(△0.1%)の減収となりました。売上総利益は、官庁向け下水道関連商品は市場停滞と価格競争激化の影響により厳しい状況で推移したものの、民間企業向け各種ポンプ類などの好調な販売や、順調なシールド掘進機の販売およびレンタルに支えられ、前期に比べ1億36百万円の増益となりました。</p>	<p>売上構成比</p> <p>32.2%</p> <p>産機・建機</p>
年度	売上高 (百万円)										
平成19年3月期	9,015										
平成20年3月期	10,201										
平成21年3月期	10,191										
<p>環境設備関連</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●下水汚泥・産業廃棄物処理施設向け高圧ピストンポンプの設計・施工および販売</li> <li>●水砕スラグ製造設備の設計・施工および販売</li> </ul> <p>主な商品・技術 水砕スラグ製造設備(ラサ・システム) プツマイスター高圧ピストンポンプ</p>	<p>売上高推移</p> <p>1,925百万円 ↓ 2,731百万円 (41.9%増)</p> <p>環境設備 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>売上高 (百万円)</th></tr> <tr><td>平成19年3月期</td><td>1,489</td></tr> <tr><td>平成20年3月期</td><td>1,925</td></tr> <tr><td>平成21年3月期</td><td>2,731</td></tr> </table>	年度	売上高 (百万円)	平成19年3月期	1,489	平成20年3月期	1,925	平成21年3月期	2,731	<p>→当事業年度のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●水砕スラグ製造設備の大型案件の売上計上により大幅な売上増</li> <li>●大型案件の受注は少なかったものの、新分野での受注など今後に繋がる新たな展開</li> </ul> <p>環境設備関連におきましては、高炉の付帯設備として好調な水砕スラグ製造設備等の大型工事などが寄与し、関連部門の売上高は27億31百万円となり、前期に比べ8億5百万円(41.9%)の増収となりました。売上総利益は、水砕スラグ製造設備などの大型工事の売上が貢献し、前期に比べ2億98百万円の増益となりました。</p>	<p>売上構成比</p> <p>8.6%</p> <p>環境設備</p>
年度	売上高 (百万円)										
平成19年3月期	1,489										
平成20年3月期	1,925										
平成21年3月期	2,731										

(注)「食糧・資源関連」は第108期(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)より、事業内容をより正確に表現するため、「資源・金属素材関連」に名称を変更しております。

貸借対照表

	当事業年度末 平成21年3月31日現在	前事業年度末 平成20年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>12,614</b>	<b>11,874</b>
現金及び預金	3,067	2,153
受取手形	1,804	1,822
売掛金	5,438	5,016
商品	2,008	2,103
半成工事	32	137
繰延税金資産	173	178
その他	92	465
貸倒引当金	△ 3	△ 2
<b>固定資産</b>	<b>2,419</b>	<b>2,361</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>941</b>	<b>1,010</b>
貸与資産	88	135
建物	219	235
土地	575	575
その他	57	65
<b>無形固定資産</b>	<b>108</b>	<b>68</b>
のれん	37	53
その他	70	14
<b>投資その他の資産</b>	<b>1,369</b>	<b>1,282</b>
投資有価証券	494	572
その他	905	723
貸倒引当金	△ 29	△ 12
<b>資産合計</b>	<b>15,034</b>	<b>14,236</b>

(単位:百万円)

	当事業年度末 平成21年3月31日現在	前事業年度末 平成20年3月31日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	<b>4,947</b>	<b>5,919</b>
支払手形	2,134	2,090
買掛金	1,490	2,276
短期借入金	287	521
1年内償還予定の社債	100	190
賞与引当金	212	202
その他	722	638
<b>固定負債</b>	<b>2,640</b>	<b>1,375</b>
社債	360	260
転換社債型新株予約権付社債	1,500	—
長期借入金	118	406
退職給付引当金	604	630
その他	57	78
<b>負債合計</b>	<b>7,587</b>	<b>7,295</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	<b>7,490</b>	<b>6,945</b>
資本金	1,854	1,854
資本剰余金	1,612	1,612
利益剰余金	4,033	3,488
自己株式	△ 8	△ 8
<b>評価・換算差額等</b>	<b>△ 44</b>	<b>△ 4</b>
その他有価証券評価差額金	△ 46	9
繰延ヘッジ損益	2	△ 14
<b>純資産合計</b>	<b>7,446</b>	<b>6,941</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>15,034</b>	<b>14,236</b>

損益計算書

(単位:百万円)

	当事業年度 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	前事業年度 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
<b>売上高</b>	<b>31,716</b>	<b>41,176</b>
売上原価	27,025	36,747
<b>売上総利益</b>	<b>4,691</b>	<b>4,429</b>
販売費及び一般管理費	3,129	3,020
<b>営業利益</b>	<b>1,562</b>	<b>1,408</b>
営業外収益	54	57
営業外費用	61	54
<b>経常利益</b>	<b>1,554</b>	<b>1,411</b>
特別利益	0	33
特別損失	224	99
<b>税引前当期純利益</b>	<b>1,331</b>	<b>1,346</b>
法人税、住民税及び事業税	585	562
法人税等調整額	9	19
<b>当期純利益</b>	<b>736</b>	<b>765</b>

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当事業年度 平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで	前事業年度 平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで
<b>営業活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>475</b>	<b>242</b>
<b>投資活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>△ 363</b>	<b>110</b>
<b>財務活動による キャッシュ・フロー</b>	<b>796</b>	<b>△ 495</b>
<b>現金及び現金同等物に 係る換算差額</b>	<b>4</b>	<b>△ 8</b>
<b>現金及び現金同等物の 増減(△)額</b>	<b>913</b>	<b>△ 152</b>
<b>現金及び現金同等物の 期首残高</b>	<b>2,153</b>	<b>2,306</b>
<b>現金及び現金同等物の 期末残高</b>	<b>3,067</b>	<b>2,153</b>

株主資本等変動計算書

当事業年度(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本							評価・換算差額等				純資産 合計	
	資本金	資本剰余金 準備金	利益 準備金	その他利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
				固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金							
<b>平成20年3月31日残高</b>	1,854	1,612	114	41	2,000	1,332	3,488	△ 8	6,945	9	△ 14	△ 4	6,941
<b>当事業年度中の変動額</b>													
剰余金の配当						△191	△191		△191				△191
固定資産圧縮積立金の取崩				△1		1							
別途積立金の積立					500	△500							
当期純利益						736	736		736				736
自己株式の取得								△0	△0				△0
株主資本以外の項目の当事業 年度中の変動額(純額)										△56	17	△39	△39
<b>当事業年度中の変動額合計</b>				△1	500	46	544	△0	544	△56	17	△39	505
<b>平成21年3月31日残高</b>	1,854	1,612	114	39	2,500	1,379	4,033	△8	7,490	△46	2	△44	7,446

## ■ 株式の状況 (平成21年3月31日現在)

発行済株式の総数…………… 12,374,474株

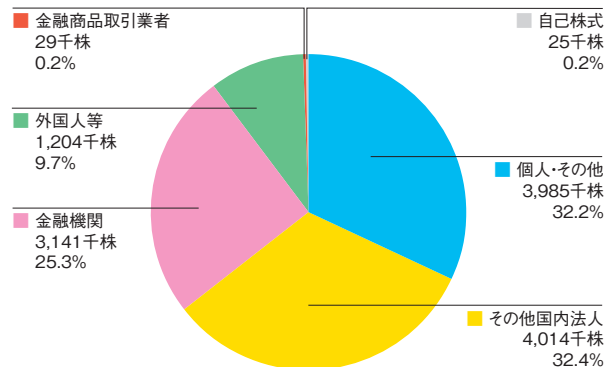
株主数…………… 3,630名

(注)発行済株式の総数および当期末株主数には、自己株式分25,526株は含まれておりません。

## ■ 大株主 (上位10名) (平成21年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
大平洋金属株式会社	1,040,000	8.38
ラサ工業株式会社	1,000,000	8.06
シティグループ・グローバル・マーケット・インク	720,000	5.80
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	512,400	4.13
株式会社損害保険ジャパン	470,000	3.79
アトラス コプコ コンストラクション ツールズ エイビー	400,000	3.22
東京海上日動火災保険株式会社	360,000	2.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	326,300	2.63
日本生命保険相互会社	300,000	2.41
株式会社みずほ銀行	260,000	2.09

## ■ 所有者別株式分布状況 (平成21年3月31日現在)



## ■ 株主メモ (平成21年3月31日現在)

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年事業年度末日から3ヶ月以内

基準日 定時株主総会・期末配当 毎年3月31日

中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号

中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

取次事務は中央三井信託株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

## ●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

## ●未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。

## ●上場株式配当等の支払いに関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年1月以降にお支払いする配当金について株主様あてに配当金額や源泉徴収税額等を記載した「支払通知書」を送付することが義務づけられました。

配当金額取証にてお受取りの株主様は年末または翌年初に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。口座振込を指定されている株主様は配当金支払いの際送付している「配当金計算書」が「支払通知書」となります。なお、両書類は確定申告を行う際その添付資料としてご使用いただくことができます。

## 各種手続きに必要な用紙のご請求は

株主名簿管理人のフリーダイヤル

0120-87-2031 (自動音声案内)

およびインターネットのホームページ

[http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

で24時間受付しております。

## ■ 会社概要 (平成21年3月31日現在)

社名 ラサ商事株式会社

設立 1939年(昭和14年)1月10日

資本金 18億5400万円

本社 〒103-0015

東京都中央区日本橋箱崎町8番1号

ヤマタネ箱崎ビル

Tel. (03)3668-8231

Fax. (03)3669-1729

売上高 317億円(平成21年3月期)

従業員数 212名

会計監査人 監査法人大手門会計事務所

許可 (機械器具設置工事業・電気工事業・

水道施設工事業)

古物商許可

## ■ 役員の状況 (平成21年6月26日現在)

代表取締役社長 井村 周一

代表取締役専務 田畑 威彦

常務取締役 古谷 利央

常務取締役 伊藤 信利

取締役 川久保 明

取締役 鈴木 卓

取締役 澤本 滋

取締役 中西 俊雄

取締役 大岡 隆

常勤監査役 栗田 治彦

監査役 松尾 幸

監査役 多米田 裕行

(注) 監査役 松尾 幸、多米田 裕行の両氏は社外監査役であります。

## ■ 事業所 (平成21年3月31日現在)

札幌支店 北海道札幌市東区北24条東15-4-10 第2日弘ビル

仙台支店 宮城県仙台市宮城野区榴岡4-5-24 第一パークビル

横浜支店 神奈川県横浜市港北区新横浜3-19-11 新横浜タウンビル

名古屋支店 愛知県名古屋市中区錦1-11-20 大永ビル

大阪支店 大阪府大阪市北区堂島1-2-5 堂北ダイビル

広島支店 広島県広島市中区中町7-23 住友生命広島平和大通り第2ビル

福岡支店 福岡県福岡市博多区博多駅東3-6-3 福岡アーセオンビル

北関東営業所 群馬県高崎市あら町67-1 高崎あら町センタービル

静岡営業所 静岡県富士市永田町1-124-2 明治安田生命富士ビル

岡山営業所 岡山県岡山市北区表町1-7-15 パークスクエアSHOWA

高松営業所 香川県高松市亀井町8-11 B-Z高松プライムビル

札幌機械センター 北海道江別市工栄町27-15

東京機械センター 千葉県習志野市実籾2-35-9

千葉機械センター 千葉県八街市八街い278-6

広島機械センター 広島県広島市安佐北区深川1-15-17

福岡機械センター 佐賀県神埼郡神埼町大字城原字菅生534

(街高倉エンジニアリング内)

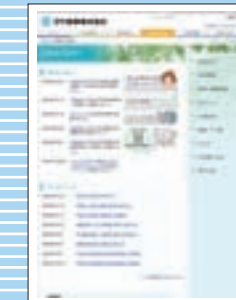
中国上海駐在員事務所

米国ポートランド事務所

## ホームページのご案内



ニュースリリースやIR資料等の最新情報をご提供しています。

[www.rasaco.co.jp](http://www.rasaco.co.jp)